

ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(SI構想)

2050年の持続可能な福島浜通り地域社会の形成

社会イノベーション・イニシアティブ(SI構想)は、2050年を目標に、常磐炭鉱(いわき)、広野火力(広野)、2F(檜葉・富岡)、1F(大熊・双葉)、アーカイブ拠点施設(双葉)、伝承館・復興祈念公園(双葉・浪江)、原町火力(南相馬)と、南から北へ続くエネルギー産業遺産・事故遺産・震災復興施設のネットワークを作り、1Fやエネルギー遺産群を核とした災害文化を形成することで地域の新たな魅力づくりと、国際的芸術・学術拠点を形成することで、21世紀の持続可能な浜通り地域社会の形成を構想する。

① 1F廃炉の先研究会:2019年7月設置

1F廃炉プロセスの地域資源化と1F廃炉の将来像の多様な選択肢の研究開発

② 国際芸術・学術拠点構想研究会(A&S研究会):2020年4月設置

原子力災害の教訓の未来世代への継承、福島教訓を踏まえた文化芸術と学術研究の新たな「知の拠点」やエコミュージアム構想に関する研究開発

③ 創造的復興研究会:2021年7月設置

福島浜通り地域社会の2050年の将来像に関する多様な選択肢の研究開発

